

猩々 あらすじ

②

高風が酒を用意して古い城の河のほとりで待っていました。やがて、猩々があらわれて酒を飲み、舞い踊りました。そして、高風は猩々から永久に尽きない酒つぼをもらいました。



①

親孝行の高風という若者がいました。ある時夢を見ました。その指示に従って酒を売りに、しだいに金持ちになっていきましました。ある時、客の中にいくら酒を飲んでもさっぱり酔わない者がいました。名前を聞くと「海に住む猩々と答えて立ち去りました。」



杉沢比山 猩々



『猩々』とは？
顔は人、体は狗のような、全身があかく長い毛におおわれている。
酒が大好き！
注：空想上の動物です。

今野さんに聞きました!!

猩々なのにどうして刀を使うのですか。

どうして刀を回したり、刀をくわえて逆立ちをするのですか。



刀を使ったり逆立ちの様子は、酒によった猩々が曲芸を行っている様子です。想像上の動物であるため、人間離れた曲芸を披露している様子を表現しています。



頭のフサフサは何ですか。



頭につけているものは、猩々の毛むくじゃらな様子を表わしていると思われます。

